

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公開番号】特開2005-274773(P2005-274773A)
 【公開日】平成17年10月6日(2005.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報2005-039
 【出願番号】特願2004-85513(P2004-85513)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 15/05 (2006.01)

G 0 3 B 7/091 (2006.01)

G 0 3 B 7/16 (2006.01)

H 0 4 N 9/04 (2006.01)

H 0 5 B 41/32 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 15/05

G 0 3 B 7/091

G 0 3 B 7/16

H 0 4 N 9/04 B

H 0 5 B 41/32 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月28日(2007.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ストロボ装置及び撮像装置及びその補正值算出方法及びプログラム

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、ストロボをカメラ本体に対して着脱可能なデジタルカメラシステムに適用可能なストロボ装置及び撮像装置及びその補正值算出方法及びプログラムに関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の目的は、撮像装置とストロボ装置の間の通信時間を短縮し、ストロボ発光時の状態変化による色温度変化の影響を軽減することを可能としたストロボ装置及び撮像装置及びその補正值算出方法及びプログラムを提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

本発明によれば、ストロボ発光時の状態変化による色温度変化の影響を軽減しつつ、ストロボ装置から撮像装置に送信するデータを減らし通信時間を短くすることが可能になる

。